

特別養護老人ホーム 緑愛園

広報誌

ひだまり

発行日 令和4年1月14日
発行者 指定介護老人福祉施設
緑愛園
施設長 芦崎 祐公
住所 札幌市清田区
北野1条1丁目6-28
メール ryokuai@hokurou.or.jp

新年のご挨拶

“新たな希望”

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。本年も当施設の運営にご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年から令和3年は世界中で新型コロナウイルスの感染拡大などにより、ご家族様におかれましてはご心配と面会におけるご不自由、ご負担をおかけしておりましたが、皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。しかしオミクロン株にも予断を許さない状況が続いておりますので、どうかご家族の皆様も健康にご留意いただき、令和4年が良い1年になりますことを願っております。

さて、今年の年末年始は「大雪」と「寒さ」が厳しい年ではありますが、緑愛園の中は床暖房と昨年11月に導入した大型の加湿器6台をフル稼働させ、ウイルス対策を徹底しております。最近の加湿器はとても性能が良く、広い食事スペースの湿度も安定いたしました。このように新しいものを活用すると、32年目になる緑愛園もそろそろ建替えを検討し始める時期であることを実感しております。

社会福祉法人ほくろう福祉協会は1989（H1）年に法人設立し、翌（H2）年4月「特別養護老人ホーム緑愛園」の運営を始めました。2009（H21）年夏には大規模改修を行い、現在の緑愛園にリニューアルを行ったところであります。この間、2005（H17）年には厚別区青葉町に「特別養護老人ホーム青葉のまち」を開設し、2017（H29）年には厚別もみじ台に「特別養護老人ホームサポーター・もみじ台」の運営開始と当法人も3施設となり、札幌市内でも中規模の法人となりました。その結果、法人内では「緑愛園」が一番古く、札幌市内でも10番前後の古さとなりましたが、『老舗には老舗の良さがある』とメリットを活かしながらサービスをご提供しております。ただ、“より良いサービス”と“より良い生活空間”を考えると、内閣府からの助言を取り入れ、近未来的な設備を兼ね備えた緑愛園の建替えを検討し始めました。少しでも現在検討しておりますスケジュールを記載させていただきます。

2022（R4）年12月までには候補地の選定を目指しております。もしかすると、緑愛園のご入居をお決めいただいた条件として、ご家族様の自宅から近いという方もいらっしゃるかと思います。しかし、現在の土地では面積的にも少なく、より良い環境のご提供は困難な状況であります。よって、年内には新たな候補地を確定させ、2024（R6）年4月着工、2025（R7）年5月には移転を予定しております。ただ、南区や東区、北区など現在の土地から大幅に離れることがないように土地の確保を考えております。約3年後の移転を目指して、職員一同、より良い支援と新たな支援方法を提供できるよう精進いたします。ご家族の皆様には適宜広報誌等で建替えの進捗状況をお知らせいたしますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

末尾になりますが、今年1年がご入居者様、ご家族様にとって良い年となることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

緑愛園 施設長 芦崎祐公



特別養護老人ホーム緑愛園
施設長 芦崎 祐公

面会方法の変更

令和3年11月に札幌市保健所より『コロナ禍における施設での面会について』通知が届きました。これをもとに、特別養護老人ホーム緑愛園としての面会指針を新たに作成致しました。

今回、札幌市保健所から面会方法として、①十分な換気、②面会者と入居者の空間的分離、③札幌市の流行状況を把握し、場合によっては面会中止を検討する、④面会のルールを取り決め遵守する、などが示されました。

保健所からの通知に基づき、緑愛園は令和3年12月より面会場所を①**デイサービス玄関**、②**面会室**の2か所からお選びいただいております。詳細は11月の請求書に「緑愛園の面会指針」を同封しておりますので、ご確認をお願い致します。

尚、面会は**完全予約制**とさせて頂いております。お手数ですが事前に生活相談員(杉江・山口)宛にご連絡ください。

面会場所① デイサービス玄関

- ①面会の人数の制限なし
- ②面会時間は15分以内
- ③面会者は必ず「不織布マスク」着用

面会場所② 面会室(施設内)

- ①**新型コロナウイルスのワクチン接種済み**
- ②面会の人数は2名迄
- ③面会時間は15分以内
- ④面会者は必ず「不織布マスク」着用

クリスマス会と忘年会

昨年12月に各グループにて『クリスマス&忘年会』を開催致しました。1年の締めくくりとして皆様に楽しんでいただけるように、お食事やプレゼントをご用意致しました。オードブル、お寿司、お鍋、クリスマスケーキ等の豪華な食事を召し上がり、楽しんでいただけたようです！



…あとかき…

早いものであつという間にお正月が過ぎました。今年のお正月は初めて夫の実家で過ごし、緊張しつつも、美味しい食事をついつい食べ過ぎてしまいました。

楽しんでいるのも束の間、家庭にはルールがあるので、そのルールを知らない私は義父が大切にしているコレクションの超高級お猪口を重ねてしまうという大失態を犯しました。お猪口を傷つけていたら・・・と考えると肝が冷えます。

毎年寝正月だった私にとって、夫の家庭の味やルールを知り、「お嫁に行くとはこういうことか」と一歩大人の階段を登った年末年始でした。皆様、良い一年をお過ごしください。(生活相談員 杉江)